

2025 年 5 月 14 日

国立台湾大学病院

楊振賢先生ならびに医療チームの皆様

拝啓

このたびは、私の子宮の病状に対して、卓越したご診断とご治療、そして温かいご配慮を賜り、心より感謝申し上げます。

数年間にわたり、数多くの検査やマニラや台湾の一流病院での異なる診断に直面し、不安な日々を過ごしておりました。しかし、楊医師はわずか一度の診察で、これまで 5 年間誰も正確に見抜けなかった「子宮中隔」を的確に診断してくださいました。

長年、子宮の形が流産の原因になるのではないかと心配してまいりました。MRI、超音波検査、子宮鏡検査など十数回にわたる検査を受けましたが、子宮双角か中隔かについて医師たちの見解は一致しませんでした。マニラのある病院では、確実な診断が得られるかどうか不明なまま、全身麻酔下での侵襲的な腹腔鏡併用子宮鏡検査まで提案されたこともありました。

しかし、楊医師の行ってくださった診断的子宮鏡検査は、マニラで提案された侵襲的なものとはまったく異なり、迅速かつ無痛で、想像以上に快適でした。まるで簡単な歯科健診のようにスムーズに行われ、その場で診断がつき、翌日には手術を手配し、熟練の技術で執刀してくださいました。術後の回復も順調で、ほとんど痛みを感じることはありませんでした。

また、看護師の Ivy Huang 様と Doris 様には、予約から検査、手術、回復に至るまで、常に温かく細やかなご配慮をいただき、心より御礼申し上げます。さらに、国際医療チームや手術スタッフの皆様にも、明確な英語でご説明くださり、常に安心して過ごすことができましたことを深く感謝しております。

私と夫は、心の底から楊医師ならびに国立台湾大学病院の医療チームの皆様に感謝し、親になるという夢に新たな希望をいただきました。NTUH での経験は、私たちにとって本当に素晴らしいものでした。

敬具

ティファニー

フィリピン・マニラ